

クマに注意 CAUTION!! BEAR



尾瀬国立公園を訪れる方は、
ツキノワグマに
注意してください。

Beware of BEARS in Oze.

尾瀬国立公園的遊客，請注意黑熊
尾瀬国立公園的游客，請注意黑熊



お問い合わせは…

尾瀬国立公園ツキノワグマ対策協議会
事務局：公益財団法人 尾瀬保護財団

〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1 群馬県庁内
TEL 027-220-4431 / FAX 027-220-4421

URL <https://oze-fnd.or.jp/>
E-mail info@oze-fnd.or.jp



このパンフレットは令和8年3月に作成しました

はじめに…

尾瀬にはツキノワグマが普通に生息しています。
尾瀬を散策する時には、クマの生息地を訪れている
ということを忘れないでください。



尾瀬国立公園では、特に移動経路となっている抛水林付近や見通しの良い湿原で、クマが目撃されています。マップで示した場所は、尾瀬ヶ原・尾瀬沼エリアでも特に目撃の多い場所のため、季節や時間帯によっては一層の注意が必要です。



●研究見本園
湿原で植物を食べています。特に好物のミズバショウの実が熟す6～8月の目撃が多く、安全のために園内を通行止めにする場合があります。

●ヨシッ堀田代地区
湿原に植物の新芽を食べに来たクマが、春先にたびたび目撃されています。5月から6月は、注意が必要です。ヨッピー吊橋周辺は高架木道になっており、木道の下をクマが通ることがあります。

●尾瀬沼地区
山すその湿原に現れて、植物の新芽やミズバショウの実などを食べています。6月から8月の早朝・夕方は、注意が必要です。

●見晴地区
秋にミズナラなどの実を食べているクマがよく見られます。林の中や近くを歩く際には注意が必要です。

●鳩待峠～山ノ鼻
シーズンを通して目撃が多くあります。特に好物のミズバショウの実が熟す6～8月、ミズナラやブナの実がなる9月には、木道付近や樹上での目撃が多いので注意が必要です。

●竜宮地区
6～7月頃は「タケノコ」(チシマザサなどの新芽)を食べています。シーズンを通して目撃が多いので注意が必要です。

目撃情報をお寄せください!
●目撃した場所や時間 ●クマとの距離や大きさ
●クマの様子(何か食べていた等)などの情報を、
尾瀬山の鼻・尾瀬沼ビジターセンター又は尾瀬保護財団へお寄せください。



**最新の目撃情報は
こちらをご確認ください**
皆さまから寄せられた目撃情報をもとに、
目撃された場所や時間などを随時更新しています。

尾瀬保護財団ホームページ
「ツキノワグマとの共存」

裏面の注意事項をご覧ください、注意して行動してください

クマと出会わないために Never let bears meet you!

クマも人とは
出会いたくありません。

1. 自分の存在を知らせよう

Make noise to alert bears. Carry bear bells.

～鈴や笛で自分の存在を知らせよう～

- クマは人の気配を感じると、先に逃げるなどして、人と会うのを避けることがほとんどです。
- なるべく早く自分の存在をクマに知らせることが、出会わないための第一歩です。
- 採食中のクマは夢中になっていて、人の気配に気づかないことがあります。

見通しが良い場所や絶えず人がいる広場など、あきらかにクマがいない場所では、鈴やラジオの音を止めて、他人の迷惑にならないようにしましょう。



2. 薄暗い時間帯は要注意

Be extra cautious at dawn and dusk.

～クマの活動時間です～

- 朝夕の薄暗い時間帯は、クマの採食活動が盛んです。
- 雨や曇りの薄暗い日も注意が必要です。

3. 霧、川沿い、山すそも要注意

Expect bears in fog, near rivers, and at the foot of mountains.

～クマの注意力が散漫～

- クマの注意力が散漫になっていて、人の気配に気づかないおそれがあります。

気をつけよう、こんなこと！

人との接触を避けて、自然の中で生活しているクマ。
あなたの不用意な行動が尾瀬のクマを危険な動物にします。

食料と残飯の管理をしっかりと

Don't leave food or trash behind.

～お弁当の残りやキャンプの残飯は持ち帰り～

人の食べ物に引き寄せられてクマがやってくる例があります。食料・残飯・ゴミは、すべて持ち帰ってください。



- 嗅覚は鋭く、においには敏感です。
- 肉も好物です。

山の中を走るのは危険

Don't run on trails. Give bears time to move away before you encounter them.

～不意の接触到注意～

- 見通しの悪い場所でお互い気づかず急接近した場合、危険を感じたクマが、身を守るために先制攻撃をしてくるかもしれません。

クマに近づかない

Keep away from bears. Leave the area if you find their fresh dropping or footprints.

～クマのサインを見逃すな～



尾瀬で見られるクマのフン

真新しいフンや足跡は、近くにクマがいるサインです。すみやかにその場から遠ざかりましょう。

ペットは連れ込まない

Don't bring pets with you. Their smell excites bears.

～クマを刺激するのはやめよう～

鳴き声だけでなく、「におい」も野生生物には刺激になります。

写真の撮影は、クマを刺激するので、とても危険です
DANGER: Taking photos irritates bears!

尾瀬に生息するクマはツキノワグマです。ツキノワグマは広い生息環境を必要とするため、生物多様性の観点からも重要な動物です。また、貴重な尾瀬の自然環境の一部でもあります。しかし、万一、人の不注意で事故が起きた場合には、「危険なクマ」として駆除されることがあります。クマのためにも注意しましょう。

尾は短い

140cm前後

体色は黒

体重60～80kg

ツキノワグマの特徴
～雑食だが植物食にかたよる～

- おとなしい性格
- 雑食だが植物食にかたよる(ただし肉も好物)
- 木登りは得意
- 人よりずっと早く走る
- 音やにおいには敏感
- 視力はあまりよくない
- 繁殖率が低い(毎年、子を産むとは限らない)

月の輪(ない個体もある)

クマに出会ってしまったら

In case of encounter

クマも驚いています。
トラブルに発展しないため冷静に。

1. あわてない

Don't panic. Stay calm and leave the area slowly.

～まず、落ち着こう～

- 距離が離れていればあわてる必要はありません。ゆっくりその場から遠ざかりましょう。
- 近くにいる場合は、クマの動きを見ながらゆっくり後退(背を向けずに)しましょう。

2. さわがない

Don't startle bears.

～クマを刺激しないで～

- 大きな声を出さない。

3. 走って逃げない

Don't run away. Bears may chase you.

～逃げると追いかけてくる～

- クマは逃げるものを追いかける習性があります。
- あなたよりずっと早く走れます。

4. 子グマには特に注意

Never go near bear cubs. Their mother may attack you to protect them.

～子を守る親は命がけ～

- あなたに見えなくても、子グマの近くには親グマがいます。
- 子グマを守ろうとする親グマはあなたを襲うことがあります。
- すみやかにその場から遠ざかりましょう。

**クマに出会わないことが第一です。
左の1～3の注意を守ってください。**